

事業の名称：食の事業を活用した地域の担い手発掘事業

団体名	掛合自治振興会	事業費	230,362円
代表者	会長 松村治香	補助金交付額	200,000円

現状と課題

地域内の若い世代の方を対象とした取り組みが少なく、既存事業への参加者が増えていない状況からも若い世代に実施事業がマッチしていないのではないかと分析している。

また、上記のように集まる機会が無いため、若い方がどんな事業を求めているのか、また、「地域の課題」に対してどのように認識し、今後の掛合地区についてどう考えているか自主組織としても把握できていない状況にある。

事業の目的

女性や子どもを巻き込んだイベントの実施により若い世代の方が「集まる場」をつくり、あわせて自主組織が実施する事業のニーズや今後の掛合地区について意見交換ができる場をつくる。

こうした取り組みを通じ、次世代を担う人材の発掘・育成につなげる。

実施内容

◇実施状況

「食」に関する企画として、普段家庭ではできない「ソーセージ作り教室」を開催した。

1回目 2月19日(日) 参加者14名

2回目 2月26日(日) 参加者9名

また、興味のある事業内容や事業の実施時間帯、広報の方法について意見交換を行った。



◇成果と課題

次世代を担う人材の発掘や育成はまだまだこれからだが、自主組織と地域住民が気軽に話しができる存在になる第一歩の事業になった。

また、若い世代や女性が参加しやすい事業を企画することで幅広い年代の参加があり、事業ニーズの聞き取りや自主組織の取り組みを知ってもらう機会になった。



各年代への周知方法はSNSを活用した発信が望まれているが、年代により使うSNSが違うので発信方法の検討が必要。

イベントに参加してもらうだけでなく参画してもらえようように誘導していく必要がある。

